

いつか花咲く日のために

平成23年6月21日
広島市立中島小学校
校長だより 第3号

子どもたちの心に種をまき、水を与え、光を与え、栄養を与え
あせらず、あわてず、あきらめず、花の咲く日を待たないと、
この題をつけました。



「会釈のじょうずな3年生」が 「変身・変身4年生」に

「来させていただいて本当によかった」
先日、4年生を対象に行った「平和学習」に講師としておいでいただいた先生方の指導後の感想です。
静かに話を聴き、問いかけに一生懸命に応える活発な子どもたちの姿に感動したとおっしゃっていました。

確か4年生が2年生だったころ、
「教頭先生(2年前は教頭でした。)、同じ人に『おはようございます』って何回もいうの変かなあ。」
と、相談に来た子どもがいました。
「そんなことはないよ。『あいさつ・へんじ・そうじ』は心みがきだからね。でも、にっこり微笑んで軽く一礼する『会釈』があるよ。」
そう話した時から、その子どもは、廊下ですれ違うとにこっと笑って頭を下げるようになりました。

3年生の時には、担任からも指導があったのでしょうか。気が付くと、「会釈のじょうずな学年」になっていました。

そして、今度は、出会いを喜んでいただける「活発な4年生」に変身。さなぎが蝶に変わるようにすてきな高学年に変身していくことでしょう。

なかじまっ子の感性から生まれる「なかじま 五七五」

5月のバラから学校のあちらこちらを飾るのは、紫陽花に変わりました。

「紫陽花」は、花の色が白から青紫色、紅紫色と変わることから「七変化」とも言われるそうです。

子どもも同じ。時や場所、状況に合わせてその表情が変化します。子どもたちの「七変化」を楽しむ心のゆとりをもちたいものです。

やっと来た春を、心から楽しんで五七五。

春がきた 花もまんかい いい気分 坂本 優祐

6月8日から実施した5年生の野外活動。団結力でピンチをチャンスに変え、充実した2泊3日を過ごし、無事帰校しました。出発前の気持ちを五七五で。

やかつでは 五年みんなで がんばるぞ 川本 大輝
五ねんせい ちからあわせて がんばろう 林 亮太
山登り みんなで登る 楽しみだ 榊村 郁弥
おいしそう ぼくらのカレー せかいいち 澤田 竜成

5月の学校を華やかに飾ったバラの効用。

ばらがさく さきほこるばら 元気づく 角 心寧

早い梅雨入り。梅雨明けが待ち遠しい。

つゆのじき 雨がいっぱい ふっている 中田 早紀

目にも心にも残る赤い実ひとつ。

家の木に たったひとつの さくらんぼ 西山 真未

赤い実ひとつから感じる親心。

ひとつでも 今年^{なつた}は生った 桜ん坊 西山 雅敏

では、ここで、先生たちの「今時五七五」をお楽しみください。

あいさつで 心をみがく 中島っ子 藤田 拓
ほほえんだ やさしい笑顔が すてきな子 杉野 君恵

ピースサミット本校代表、6年武田 奈々さんは、「あたりまえの日常のたいせつさ」を作文をとおして訴えました。

あたりまえ 気付かず過ごす 平和な日 久松ひとみ